

製品安全データシート

作成日：2007 年 08 月 27 日

改訂日：2026 年 09 月 29 日

確認日：2026 年 09 月 29 日

1. 化学品及び会社情報	
製品名 [構成品名] 他の特定手段 供給者の会社名称、住所及び電話番号 緊急連絡電話番号 推奨用途 使用上の制限	HISCL ラインウォッシャー — シスメックス株式会社 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 シスメックス株式会社 テクノパーク 〒651-2271 神戸市西区高塚台4丁目4番地の4 TEL：(078) 991—1911 TEL：(078) 991—1911 臨床検査測定用 推奨用途以外への使用は禁止する
2. 危険有害性の要約	
化学品の GHS 分類 物理化学的危険性 健康に対する有害性 環境に対する有害性 GHS ラベル要素 絵表示 注意喚起語 危険有害性情報 注意書き 安全対策 応急措置 保管 廃棄 GHS 分類に関係しない又は GHS で扱われない 他の有害危険性	分類できない 区分に該当しない 区分に該当しない 該当しない 該当しない 該当しない 該当しない 該当しない 該当しない 該当しない 1, 2-ベンゾチアゾリン-3-オンを含有する。アレルギー 反応を起こすことがある。
3. 組成及び成分情報	
化学物質・混合物の区別 成分の化学名	混合物 (水溶液) 1, 2-ベンゾチアゾリン-3-オン

濃度又は濃度範囲	<0.05%
CAS 番号	2634-33-5
化審法 官報整理番号	化審法官報整理番号 9-1845
安衛法 官報整理番号	既存
4. 応急措置	
必要な応急処置の説明	
吸入した場合	鼻をぬるま湯で洗い流しうがいをする。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診察、手当てを受けること。 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。 直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。 口をすすぐこと。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	情報なし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	情報なし
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	二酸化炭素
使ってはならない消火剤	高出力水噴流
火災時の特有の危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスクなど）を着用する。 消火活動は風上から行うこと。周辺で火災が発生した場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所へ移動すること。火災現場周辺への立ち入りは関係者以外禁止し、関係者以外は安全な場所へ避難させること。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡・マスクなど）を着用する。多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
環境に対する注意事項	必要に応じた換気を確保する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。 乾燥砂、オガクズ、ウエス等で吸収し、密閉できる空容器に回収する。
二次災害の防止策	滑って転倒する事故を引き起こす可能性があるため、製品の拡散を避ける。 漏出物の上をむやみに歩かない。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
安全取扱注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 保護眼鏡、保護面を着用すること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	換気の良い場所で保管すること。
安全な容器包装材料	情報なし
8. ばく露防止及び保護措置	
許容濃度等	情報なし
設備対策	情報なし
保護具	
呼吸用保護具	適切な保護マスクを着用すること。
手・皮膚の保護具	適切な保護手袋、適切な保護衣を着用すること。 必要であれば、保護シールドを使用すること。
眼、顔面の保護具	適切な眼の保護具(保護眼鏡等)を着用すること。
特別な注意事項	情報なし
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	液体
色	無色
臭い	無臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初溜点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	7.4

動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ(放射性、かさ密度、燃焼持続性)	データなし
10.安定性及び反応性	
反応性	使用目的に沿って取扱えば危険な反応は起こりません。
化学的安定性	通常の手扱いで安定。
危険有害反応可能性	使用目的に応じた手扱いをしてください。危険な反応は起こりません。
避けるべき条件	使用目的に沿って処理される場合は無し。
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	使用目的に沿って処理される場合は無し。
11. 有害性情報	
急性毒性	データ不足のため分類できない。
経口	データ不足のため分類できない。
経皮	データ不足のため分類できない。
吸入	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
その他の情報	情報なし
12. 環境影響情報	
生態毒性	
水生環境有害性、短期(急性)	情報なし

水生環境有害性、長期(慢性)	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし
その他の有害性	情報なし
13. 廃棄上の注意	
化学品（残余廃棄物）当該化学品が付着している 汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい 廃棄、又はリサイクルに関する情報 残余廃棄物	大量の水と共に流してください。 行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、廃棄物処理法に従って適切に処理してください。
付着している汚染容器及び包装	行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、廃棄物処理法に従って適切に処理してください。
14. 輸送上の注意	
国際規制	
航空規制情報（ICAO/IATA）	輸送危険物には該当しない
国連番号	非該当
品名（国連輸送名）	非該当
国連分類（危険有害性クラス）	非該当
容器等級	非該当
海上規制情報（IMO）	輸送危険物には該当しない
国連番号	非該当
品名（国連輸送名）	非該当
国連分類（危険有害性クラス）	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78 付属書 II 及び IBC コードによる ばら積み輸送される液体物質	非該当
国内規制	
航空規制情報	輸送危険物には該当しない
海上規制情報	輸送危険物には該当しない
陸上規制情報	輸送危険物には該当しない
輸送又は輸送手段に関する特別の安全策	容器、包装に損傷や漏れがないことを確認し、転倒・落下による損傷がないように積載し、荷崩れの防止を

	確実に行うこと。直接日光が当たらないように積載すること。
15. 適用法令	
薬機法	非該当
安衛法	非該当
化管法	非該当
毒劇法	非該当
化審法	1, 2-ベンゾチアゾリン-3-オン（優先評価化学物質 化審法官報整理番号 9-1845）
水質汚濁防止法	非該当
航空法	非該当
船舶安全法(危険物船舶運送及び貯蔵規則)	非該当
消防法	非該当
スイス連邦法 揮発性有機化合物の特別税法	非該当
16. その他の情報	
その他の情報	本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。 ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行ってください。
略語	ACGIH：アメリカ合衆国産業衛生専門官会議(American Conference of Governmental Industrial Hygienists) TWA：許容濃度(Time-Weighted Average) ICAO：国際民間航空機関(International Civil Aviation Organization) IATA：国際航空運送協会(International Air Transport Association) IMO：国際海事機関(International Maritime Organization) IBC コード：国際バルクケミカルコード(International Code for the Construction and Equipment of Ships Carrying Dangerous Chemicals in Bulk) 薬機法：医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 安衛法：労働安全衛生法 化管法：化学物質排出把握管理促進法 毒劇法：毒物及び劇物取締法 化審法：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

データの主要な文献参照と出典

NITE：独立行政法人製品評価技術基盤機構(National
Institute of Technology and Evaluation)
NITE GHS 分類公表データ
EU CLP Regulation, AnnexVI